

特集

期待のシリーズ

『謎の蝶アサギマダラはなぜ海を渡るのか?』シリーズ 既刊2冊

栗田 昌裕/著 PHPエディターズ・グループ PHP 研究所 (発売)

アサギマダラと呼ばれる、渡りを行う蝶のマーキング調査(個体に印を付け、動向を探る手法)において、最も多くのアサギマダラを捕獲した記録を持つ著者が、科学的知見を交えつつも、調査の中で起きた彼らの常識破りの行動と、それに伴う人々との出会いをエッセイ風に綴っていきます。彼らは時に著者が会えるかな…と想像すると現れ、時に現れたと思ったら著者を延々とストーリーし、時にお寺へ般若心経の精神を伝えるが如く現れ…。まさに神出鬼没。海を渡ったり未来が読めたりと来て、彼らは次にどんなサプライズを見せてくれるでしょうか?

『黒猫王子の喫茶店』シリーズ 既刊3冊

高橋 由太/著 KADOKAWA 角川文庫

勤めていた大手出版社を解雇され、両親は祖父母の介護で帰省し、家賃は滞納寸前、川に流される黒猫を助けて一張羅はびしょ濡れに…踏んだり蹴つたりのアラサー女子胡桃^{くるみ}。やっと見つけた喫茶店店主募集は助けた猫に先を越され?その猫・黒木パウに「俺の飼い主になれ」と依頼され?? 何とここの猫は人に化けることができたのだ! 彼の飼い主、もとい、喫茶店の副店主になった胡桃だが、毒舌店主の猫柄(?)と、胡桃のお人好みな性格のせいか、身近で猫絡みの事案ばかり起きては何とか解決し、「ドリトル胡桃」とあだ名され…。小江戸川越が舞台のドキドキキャラノベ。

『ホーキング博士のスペース・アドベンチャー』シリーズ 既刊5冊

ルーシー・ホーキング/作 スティーヴン・ホーキング/作 岩崎書店

「機械も添加物も放射能も全部悪。科学は世界を破壊するもの」という極端な文明忌避思想を持った両親の下で育ったジョージは、飼い豚フレディの脱走を追いかける内に、無人と思われていた隣家に迷い込む。そこに住んでいた科学者エリックと、意志を持つお調子者のスーパーコンピューター「コスモス」との出会い、彼にとって終わることなき、宇宙と系外惑星をめぐる謎への旅の始まりだった。所々に挟まれる科学考証、解説はわかりやすくも本格的。宇宙の神秘がある限り、ホーキング博士の冒険物語はこれからも続いてゆく事でしょう。

『俺と蛙さんの異世界放浪記』シリーズ 既刊14冊
くずもち/著 アルファポリス 星雲社 (発売)

最強の魔法使いに、命と引き換えに異世界へと召喚された大学生の紅野太郎^{こうのたろう}。びっくりするほどの大量の魔力に加え、ユニークな魔法が使えるようになっていた彼は手始めに、自分を召喚した魔法使いを蘇らせた。…なぜか蛙の姿で。ゆるっと、でもキメるところはビシッと! 順応力高めな二人(?)と個性的なキャラクターたちの冒険物語です。2013年から始まったこの作品、最近タイトルに「新」が付き、旅はまだまだ続きます!

『魔導の系譜』シリーズ 既刊3冊

佐藤 さくら/著 東京創元社 創元推理文庫

魔導士が忌み嫌われる国・ラバルタ。師匠の跡を継ぎ、この国の田舎の村で私塾を開く魔導士のレオンは、かつての弟子から、とてつもない才能を持つという少年・ゼクスを預かることに。少しずつレオンに心を開くゼクス。しかしあることがきっかけで反発し、魔導士にとって最高の場所である〈鉄の岩〉に所属することになる。これが、のちに歴史を動かす第一歩となる…。似てないようで似ている師匠と弟子。生きづらい世界で、それでも懸命に生きようとする人々の絆の物語です。

『レアリア』シリーズ 既刊4冊

雪乃 紗衣/著 新潮社 新潮文庫 nex

長きに渡り血みどろの戦を続けている帝国と王朝。得るものが無くとも両者が戦を止めぬ理由は、政治的駆け引きに基づく報復か、侵略か、防衛か、国内政敵の謀殺か、はてまた現皇帝ユーディアスたちの底知れぬ狂気か、癒えることなき憎悪か…。双方の疲弊過多により何とか得た5年間の休戦協定も切れかけ、逃れられぬ家族の死を悟った帝国魔女家の少女ミレティア。前線で筆頭戦力としての家族と仲間を癒し、その死を悼み、亡骸を弔い続けてきた彼女。戦場で「生きて」と切に願った男・アキの非道を知り、更に休戦協定延長の提案にも失敗し、ただ絶望を重ねる彼女であったが、恐怖帝^{うた}と謳われた先帝と同じ顔を持つ少年アイルとの政略結婚、そして彼の何事にも揺るがぬ意志が、彼女と、狂気と憎悪に喰われゆく世界を僅かずつ動かしてゆく。

夏本番が一瞬で到来しそうな目まぐるしい気候ですね。

今回の特集は「期待の新シリーズ」と予告していましたが、「続編期待!」という願望を込めてチョイスした結果、「期待のシリーズ」でお送りいたします(汗)